

令和 6 年 11 月 22 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価シートの提出について
(令和 6 年度分)

(あて先) 宝塚市長

所在地 兵庫県尼崎市立花町 1-23-1-3F
法人名 ホーネスト株式会社
代表者名 森 満

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

記

1 報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
2821100159	ララ安倉中	
2811102058	ララ安倉中（短期入所）	

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に○をつけてください。

2 本件に関する連絡先

担当者名	辻 篤志
連絡先	090-7754-1796

項目	【事業所記入欄】											
1. 施設概要	事業者名	ラウ安倉中		人員配置	安倉中	職種	世話人	5 人	生活支援員	3 人	夜間支援従事者	5 人
	指定日	令和4年6月1日				常勤換算		3.1 人		2.2 人		1.6 人
	所在地	兵庫県宝塚市安倉中4-14-14			新伊丹	職種	世話人	7 人	生活支援員	4 人	夜間支援従事者	7 人
	定員数(共同生活援助)	42 人				常勤換算		4.8 人		3.1 人		3.5 人
	定員数(短期入所)	3 人			西難波	職種	世話人	8 人	生活支援員	4 人	夜間支援従事者	8 人
	共同生活住居数	3 戸				常勤換算		5.3 人		3.3 人		4.7 人
	住居名:	安倉中	10 名		合計		世話人	20 人	生活支援員	11 人	夜間支援従事者	20 人
	住居名:	新伊丹	15 名		看護職員の配置	日中	無	夜間	無			
	住居名:	西難波	17 名									
	事業所の特色・独自の取組	GHを想定して設計し、新築で建てています。1階は女性専用フロア、2階は男性専用フロアに分かれています。 玄関から施設内までは取り外し可能なスロープを配備、トイレとお風呂にも手すりを設置しています。 建物内の階段は昇降機が後付け出来るスペースを設けています。										
2.利用者状況 (令和6年11月30日現在)	障害支援区分	人数		内訳	主な障害種別利用者人数(重複はそれぞれ記入)							
	非該当	0 人			身体	総 数:	4 人					
	区分1	2 人				主に日中GHで過ごす人数:	0 人					
	区分2	19 人			知的	総 数:	19 人					
	区分3	11 人				主に日中GHで過ごす人数:	4 人					
	区分4	6 人			精神	総 数:	25 人					
	区分5	0 人				主に日中GHで過ごす人数:	11 人					
	区分6	0 人			難病等	総 数:	0 人					
	合計	38 人				主に日中GHで過ごす人数:	0 人					
	年齢構成	・60歳以上 4 人		・50歳代 9 人		・40歳代 8 人		・30歳代以下 17 人				
障害特性等	医療的ケアの必要な者 0 人 強度行動障害のある者 0 人											

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は口にチェック)
3.地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等(38)名中 (38)名	■ 問題なし
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 2名・ボランティア 1名 昨年に続き、看護学校に通われている職員の娘さんが、医療とは別の視点から現場を学びたいとボランティアで月に数日参加されています。外国人実習生の受入を行い、昨年正式採用しました。	■ 問題なし 日中サービス支援型共同生活援助は地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されていますので、貴法人のこれまでのノウハウを活かし引き続き積極的に受け入れてください。
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) ボランティアで近所のゴミ拾いや溝掃除を行いました。	■ 問題なし 地域住民に入居者のことを理解いただくことが目的です。イベントに参加するなど、入居者が地域との交流の機会を確保するよう検討してください。
4.常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 24時間365日職員を配置しています。また、管理者が24時間緊急対応の電話を受けています。	■ 問題なし
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 専門業者による消防機器の確認を行い、消防計画、洪水時マニュアル、BCPを作成し、それをもとに避難訓練を行っています。	■ 問題なし 地域の防災訓練に参加するなど、自助・共助を意識した取組を行ってください。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等) 高熱が出た際は病院へ付き添い搬送を行い、必要に応じてホテルや安倉中の隔離可能な場所へ搬送し、隔離対応を行いました。	■ 問題なし 事故や感染症発生時のマニュアルについて、職員へのさらなる周知を図ってください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は口にチェック)
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状況に応じた食事提供・支援しているか。	(心身状況等を考慮した食事提供) 朝食、夕食共に全て手作りで提供を行っており、体調の変化に合わせて食事量を減らしたり、必要に応じてミキサー対応や食事を細かく切り、食事介助を行います。	■ 問題なし
5.短期入所の併設	地域で生活する障碍(がい)者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 17名	■ 問題なし 基幹相談支援センターや相談支援事業所の依頼にも、積極的に受け入れてください。
	緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。	(緊急受入人数)4名 (緊急受入事例) 虐待案件で、たつの市、芦屋市、伊丹市、尼崎市から要請があり、短期入所から本入居への移行となりました。	■ 問題なし
6.支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) 部屋に籠らないようにお店などを記載した地図を見ながらGH周辺に何があるのか説明し、外出する意欲を持たせたり、他の利用者との交流を図るためクリスマス会やハロウィンなどのお節や節分にちなんだ食事を提供したりなど、季節ごとのイベント活動を行ったりしています。	■ 問題なし 今後もイベントを開催するなど、余暇活動に取り組んでください。
	支援の質の確保に努めているか。(研修等)	(参加した研修名等) 障害者虐待防止・権利擁護研修(45)名 行動援護従事者養成研修(3)名 意思決定支援の研修(3)名 強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)(1)名 介護職員初任者研修(4)名	■ 問題なし 日中サービス支援型のグループホームは介護サービス包括型と異なり、重度化・高齢化に対応しなければなりませんので、介護関係の資格取得もぜひ進めてください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 去年の体験者数 16人 (体験利用の事例) 幻聴幻視により家族や近隣とのトラブルから入院となり、退院先として自宅や1人で住むことは困難と判断され弊社の体験に来られています。	☒ 問題なし 体験者が多く積極的に受け入れている点については評価できます。引き続き体験的利用も受け入れるようにしてください。
	改善や見直しに取り組んでいるか。	(事業所における課題・助言を求めたいこと) 手帳所持していることで見逃してもらえとの認識から、外出時に神社の賽銭や住居内で他の入居者の食べ物を盗む入居者に対し、引き続き入居いただくために防犯カメラの設置等で未然に防ぐ対応をしていますが、盗癖が完全になくならないことに苦慮しています。 (利用者・家族からの意見・希望) 夏の時期、共有している冷蔵庫の空きがない状況になり、なんとかしてほしいとの入居者からの要望がありました。より快適に過ごしていただくため、冷蔵庫を追加購入し空きを確保しました。	☐ 問題なし 本人の触法行為に関しては、関係機関と連携しながら本人にとってどの支援がいいのかを慎重に考える必要があります。相談支援事業所、保護者、本人等を交えた支援会議を開くことを相談支援事業所に提案することなどを検討してください。必要に応じて地域生活定着支援センター等の助言を仰ぐなども検討してください。 また、入居者の環境改善につながるように施設整備にも努めてください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
7.利用者の 権利擁護等 への配慮 について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	(金銭管理の支援方法) 社協の金銭管理支援、成年後見人制度を活用して定期的にお金の受け渡しの訪問を行ってもらい、弊社も金銭管理の人から預かったお金を銀行等で両替し、小袋に分けて自室の金庫で保管をしてもらい、金庫の開閉の見守りや残金確認を毎日行うなど、利用者に合わせた支援を行っております。 (成年後見制度の利用支援及び利用者数) ・利用支援事例等(☑有 □無) 成年後見人利用者数 3人、社協利用者数 7人 GHの家賃や利用料の滞納が発生し、本人も手元に通帳等があれば使ってしまうので、担当者会議で話し合った結果、成年後見人制度を利用することになりました。	■ 問題なし 今後も成年後見制度等の必要性が高いと思われる入居者には、積極的な支援機関の活用をお願いします。
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) 個人情報は鍵付きの棚に保管しております。複数の選択肢の中から自己決定出来るよう、言葉だけでなく、感情カードを取り入れたり、指さしなどの視覚的な支援を取り入れています。	■ 問題なし 意思決定支援の観点から、引き続き本人の自己決定を促す支援方法を検討してください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
	虐待等の権利侵害の防止、 発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 厚生労働省の虐待防止研修の動画を職員全員が視聴しています。 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 虐待を受けている利用者の安全確保を優先し、速やかに、虐待防止受付担当者、施設管理者、市町村に通報する。 発生後の対応は、虐待防止及び発生時対応マニュアルを基に、事実確認と再発防止策の検討を行い、記録にまとめ市町村に報告を行う。	■ 問題なし 考え方は問題ありません。虐待認定は市になりますので、通報を速やかに行うようにしてください。
8.入居/退去 状況について	報告/評価対象年度中において、 退去理由の確認及び入居時に適切な 判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 9人 (報告・評価対象年度の退去者数及び事由) ・退去者数 10人 ・主な退去事由:一人暮らしをすることになった ・主な退去事由:サテライトを希望して移動した ・主な退去事由:実家に帰ることになった	□ 問題なし 検討中の方が確認するホームページの内容が包括型のグループホームの内容になっています。入居時の適切な流れとなっているとは言えないので、改善してください。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
9.他の日中活動サービスの利用	GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援 ・サービスの提供) ・話し相手による心のケア ・居室にこもらないよう外出を促す ・風邪による体調不良の場合、定期的な検温、消化によい食事への変更、状態変化の確認 ・精神的な理由で日中先を欠勤されたの場合、明確な理由を聞き取り、関係機関と連携を行い本人が出勤出来るようにサポートを行う。 ・日中活動先を利用できない重度の方の場合、本人がGH内にて退屈しないよう、見守り支援を行いながら、関係機関と連携し、利用者が活動出来る活動先がないか情報を集める。	□ 問題なし 日中をGH内で過ごす方について、どのように過ごしているか記載してください。 日中サービス支援型グループホームは重度化・高齢化になってもグループホームで継続して生活することを想定していますので、日中活動先が利用できない場合の過ごし方については引き続き検討しておいてください。
	他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用(38)名 中(37)名(うち11名が主に日中で過ごしている。) (主な他の日中活動サービス種別・利用先) 一般就労、生活介護、就労継続支援B型、A型、就労移行	■ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
10.利用者の 健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかり 行っているか。	(医師や看護師の訪問有無及び頻度) 各利用者が個人的に看護の方や医師と契約 をして、週3日等の訪問の依頼をされています。 (健康チェック方法について) 弊社では、検温、声かけ、食事の量、顔色等 で確認をしています。	■ 問題なし 今後の重度化・高齢化に備え、看護師の配置に ついて検討してください。
11.他事業所と の連携	相談支援事業者や他のサービス事業所 との連携を行っているか。	(具体的な連携状況の事例について) 相談支援、日中活動先、移動支援、訪問看護、 病院と連携を取り、気になる変化等があれば 情報共有や情報交換をしております。	■ 問題なし

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価 (問題がない場合は□にチェック)
12.その他	＜独自に定める項目を記載＞ 深夜の電話対応について	夜間帯、職員が施設に居るにも関わらず、構って欲しい利用者が24時間対応している管理者が持っている緊急連絡携帯に電話をかけてくることがあります。(AM2時や3時に寝れないと連絡がある。) 緊急連絡先があることで依存先が増えているのではと思い、緊急連絡携帯を無くすことを検討しています。	□ 問題なし 電話対応をなくすのであれば、利用者に対してどう対応するのかを決めておく必要があります。個別支援計画を策定する際に本人の課題と対応策について記載しておいてください。
13.(2回目以降)協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	(要望・助言の内容及びその対応) 重度の方が見学に来られましたが、酸素吸入器が使われており、24時間看護師の配置を希望されていたので、本入居にはつながりませんでした。 また、緊急の受入相談や入居希望者の大半が精神疾患の方です。他社さんには受入が難しいとの理由から、緊急で当日の受入の依頼も受けています。精神でも知的などの症状が重複して症状が重たい方も多くいます。ですが、障害支援区分はそれほど高くないため、利用者の平均障害支援区分だけでみると、弊社の利用者は軽度の方ばかりだと思われることが多いのですが、日々支援の困難さを感じながら職員が精一杯対応していることをご理解頂けたら幸いです。	□ 問題なし 数字で表れない部分の対応に苦慮されていることは理解できます。 日中サービス支援型共同生活援助は将来的な重度化・高齢化に対応するために創設されました。日中活動サービスを利用できない方や将来的な身体の低下にも対応する必要があり、設備面の充実がすべての住居に求められます。 まずホームページを速やかに変更し、日中サービス支援型共同生活援助であることを市民に周知してください。